

平成27年 1月30日

枚方市上下水道事業管理者
西尾 和三 様

枚方市上下水道事業経営委員会
委員長 真山 達也

枚方市上下水道事業の経営に関する意見について

枚方市上下水道局では、平成25年4月に「枚方市上下水道ビジョン」、「枚方市水道事業中期経営計画」、「枚方市水道施設整備基本計画」及び「枚方市下水道事業経営計画」を策定された。

したがって、今年度から「枚方市上下水道ビジョン」等、これらの計画に基づく各種施策に対する経営評価を行うこととなる。

本委員会は、平成26年度中に委員会を開催し、前述の各種計画の進行管理を目的とした水道事業及び下水道事業の経営評価の妥当性などについて、調査・審議を行ってきた。

今回その結果について、枚方市上下水道事業経営委員会規程第2条の規定に基づき、下記のとおり意見を提出するものである。

記

- 1 水道事業については、水道事業中期経営計画に掲げる主要施策の平成25年度の取り組みにかかる自己評価結果に対し、各委員の専門的見地等の幅広い観点から、それぞれの施策の評価の妥当性について検証作業を実施した。

具体的には、上下水道ビジョンのうち水道事業に係る17件の基本施策に関連付けた、経営計画に掲げる主要施策27件の全てについて、当初目標どおりの成果が得られた施策（A評価）となっており、施策の進捗状況等を審議した結果、評価結果は概ね妥当であると判断した。

なお、水道事業ガイドライン業務指標（PI）を用いた平成25年度実績における他事業体との比較結果では、新会計基準の適用を、他事業体に先駆けて実施しているため、経営状況に係る指標については参考とするに留まったが、経営状況は全体として良好な状況であると判断できる。

しかしながら、老朽化した施設の更新・改良、南海トラフ大地震等の大規模災害に備えた整備など大きな課題があり、経営計画に掲げる主要施策のうち、「水道施設・管路の耐震性の向上」「水道施設・管路の計画的な更新・改良」について、アセットマネジメントにより着実に進めていく必要がある。また、アセットマネジメントにおいては、各主要施策で設定している目標数値の向上も視野に入れた検討を図りたい。

さらに、水道施設の根幹となる中宮浄水場の更新については、上下水道ビジョンの基本理念に掲げる“持続可能な水道”をめざし、将来を見据えた整備に取り組む必要がある。

- 2 下水道事業については、下水道事業経営計画に掲げる基本施策の平成 25 年度の取り組みにかかる自己評価結果に対し、各委員の専門的見地等の幅広い観点から、それぞれの施策の評価の妥当性について検証作業を実施した。

具体的には、上下水道ビジョンのうち下水道事業に係る 3 つの方針に関連付けた 21 件の基本施策のうち、当初目標を上回る成果が得られた施策（S 評価）が 1 件、当初目標どおりの成果が得られた施策（A 評価）が 20 件となっており、施策の進捗状況等を審議した結果、評価結果は概ね妥当であると判断した。

他事業体との比較については、分流式・合流式の違いにより事業形態が異なることなどから比較・分析が難しいと思われるが、来年度の経営評価においては、適切な業務指標を設定されるよう努められたい。

また、今後、汚水整備の住居系地域での概成を迎えると、本格的な維持管理の時代に入ることとなる。経営計画に掲げる「施設の維持・更新」について、ストックマネジメントにより維持管理・改築更新の一体的な最適化を図り、持続していく必要がある。

最後に、昨年 7 月に「水循環基本法」が施行された。この法により、水循環に関する施策が総合的かつ一体的に進められることが求められている。

上下水道事業は、貴重な資源である水の恵沢を安定して安全に享受できるようにし、また、健全な水循環が保たれるようにする“循環のみち”として、水循環に大きな関わりを持っている。

今後、上下水道事業が、より総合的かつ一体的に取り組まれていくことを期待する。